

令和7年度 西御料地小学校

学校評価



学校評価につきましては、保護者、児童、教職員を対象として、学校運営の中心としてきた項目について、【4：そう思う、3：やや思う、2：あまり思わない、1：思わない】の4段階での回答結果を掲載しています。

令和7年度 保護者アンケート			
		R6	R7
①	お子さんは、自分から進んで挨拶をすることができる。	3.0	3.0
②	子どもは、時と場に応じた言葉遣いができるようになってきた。		3.0
③	お子さんは、きまりや約束を守ろうという気持ちや人を思いやる気持ちが育っている。	3.3	3.3
④			
⑤	お子さんは、学校に前向きな気持ちで登校している。	3.1	3.4
⑥	お子さんは、いじめは絶対にいけないことであると考えている。	3.7	3.7
⑦	学校は、子どもに関わる相談に応じる様々な機会を設定している。		3.3
⑧	お子さんは、目標をもって学習に取り組んでいる。		2.9
⑨	お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.8	2.8
⑩	お子さんは、本に興味をもち、読書に親しんでいる。	2.6	2.6
⑪			
⑫	お子さんは、必要な場面でタブレットを使って、効果的に学習している。		3.1
⑬	お子さんは、体育の時間や遊びを通して運動に親しんでいる。	3.3	3.4
⑭	お子さんは、勉強の大切さを理解している。		2.9
⑮	お子さんは、自分の目標や将来の夢などを持っている。	2.8	2.9
⑯	お子さんは「早寝早起き朝ごはん」など、規則正しい生活習慣を身に付けている。	3.1	3.2
⑰	お子さんは、体調管理に気を付けて元気に生活してできいる。		3.2

令和7年度 児童アンケート

					1・2年		3～6年	
					R6	R7	R6	R7
①	私は、進んであいさつすることができる。	3.6	3.5	3.4	3.3			
②	私は、時と場に応じた言葉づかいができようになってきた。	3.5	3.5	3.3	3.3			
③	私は、場面によってどうするべきか、どんな言葉かけをしたらいいのか、考えることができる。	3.3	3.4	3.3	3.3			
④	私は、給食や掃除、係活動、委員会活動（高学年のみ）を進んで行ってきた。	3.8	3.3	3.6	3.3			
⑤	私は、学校に楽しく登校できている。		3.6		3.1			
⑥	私は、いじめは絶対にやってはいけないことだとわかっている。	3.8	3.8	3.9	3.9			
⑦	勉強する人数を分けたり、いろいろな先生が一人一人に丁寧に教えてくれたりしている。	3.7	3.6	3.7	3.5			
⑧	わたしは、課題の解決に向かって、勉強をがんばっている。		3.7		3.1			
⑨	私は、家庭でも学習する習慣がついてきた。	3.8	3.7	3.3	3.1			
⑩	私は、学校の図書館を利用している。	2.8	3.1	2.5	2.3			
⑪	直接の話合いや、ICTを活用した交流を通してコミュニケーション力がついてきた。		3.6		3.2			
⑫	私は、必要な場面でタブレットを使って効果的に学習に取り組んでいる。	3.8	3.7	3.5	3.5			
⑬	私は、体育の勉強で課題に向かっていろいろな運動に取り組んできた。	3.8	3.7	3.6	3.5			
⑭	私は、勉強することが自分にとって大切だと分かっている。		3.8		3.7			
⑮	私は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、活動を振り返ったりしている。	3.7	3.7	3.6	3.4			
⑯	よく食べ、よく遊び、よく寝るなど健康的な生活を送っている。	3.7	3.6	3.4	3.1			
⑰	私は、体調管理に気を付けて元気に生活できている。		3.7		3.4			

令和7年度 学校評価（教職員）

		R6	R7
①	子どもは、自分から進んで挨拶ができるようになってきた。	2.8	2.9
②	子どもは、時と場に応じた言葉遣いができるようになってきた。	2.9	2.9
③	子どもは、道徳の学習を通してよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けてきた。	3.2	3.1
④	子どもは、給食や掃除、係活動、委員会活動（高学年）に意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.2
⑤	子どもは、学校に楽しく登校できている。		3.1
⑥	学校（自分）は、いじめは絶対にいけないことであると指導してきた。	3.9	4.0
⑦	学校は、個々の特性に応じて少人数指導を取り入れるなど指導の工夫をしている。	3.7	3.5
⑧	本校（自分）は、課題を設定し、問題解決型の授業をするよう努めている。		3.5
⑨	学校は、学習習慣の定着に向け家庭での学習を推奨し支援している。	3.5	3.4
⑩	学校は、新しく買った本を紹介するなどして子どもたちが本に親しめるように努めている。		3.5
⑪	子どもは、授業中の交流活動を通してコミュニケーション力が育ってきている。	3.2	3.3
⑫	学校は（自分）は、ICTを効果的に活用した授業改善に努めている。	3.6	3.7
⑬	学校（自分）は、一人一人が目標をもち、その達成を目指すように体育の授業を進めている。	3.3	3.4
⑭	子どもは、勉強の大切さを理解している。		2.9
⑮	学校は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、振り返りをしたりしている。		3.4
⑯	学校は、家庭と連携を図り、基本的な生活習慣の確立に努めてきた。（通信での啓発など）	3.5	3.3
⑰	子どもは、体調管理に気を付けて元気に生活してできいる。		3.2

今年度の学校評価分析

◎成果

1. いじめに対する高い意識の定着

○いじめを絶対に許さないという意識が、教職員・児童ともに非常に高く定着しています。

- ・教職員の自己評価では、「いじめは絶対にいけないことであると指導してきた」という項目が4.0と、全項目の中で最も高い評価でした。
- ・児童アンケートにおいても、「いじめは絶対にやってはいけないことだとわかっている」という項目で、非常に高い数値を維持しています。

2. 登校意欲の向上

○児童が前向きな気持ちで学校に通えていることが、数値に表れています。

- ・保護者アンケートにおいて、「お子さんは、学校に前向きな気持ちで登校している」という項目が、昨年度の3.1から3.4に上昇しました。

3. ICT 活用の推進

○授業改善におけるICTの活用が進んでいます。

- ・教職員による自己評価は、昨年度の3.6から3.7へと上昇しました。
- ・元々高い数値でしたが、さらに上昇しており、学校側の継続的な努力が成果として現れています。

4. 学校と保護者の信頼関係

○学校と保護者が信頼関係を築けている肯定的な意見が多く寄せられています。

- ・保護者の自由記述からは、「困ったことがあればすぐに先生と共有する態勢が整っている」「学校に安心して通っている」といった、教職員に対する感謝や信頼の声が寄せられています。

●課題

●家庭学習と読書習慣の定着

- ・保護者評価において「家庭学習(2.8)」や「読書(2.6)」となっており、長年の課題であり、依然として低い数値に留まっています。児童に家庭学習や読書の習慣を身に付けさせる取組の工夫が必要です。

●高学年の図書館利用と生活リズム

- ・3年生以上の図書館利用評価が2.5から2.3に低下しています。図書館が特定の児童の利用に固定化していることや、環境的な窮屈さが要因としてあげられており、学級単位での活用検討が求められています。また、高学年になるほど規則正しい生活が送れなくなる傾向も課題です。

●環境整備(トイレ等)

- ・保護者の自由記述から、トイレの汚れや使い勝手(お湯が出るようにしてほしい等)に関する要望が出ており、引き続き教育委員会に要望するとともに、環境改善の余地があります。

まとめ

今年度の学校評価は概ね良好な結果であり、特に、いじめに対する意識、登校意欲の向上については、児童・教職員・保護者間で共通認識が形成されている点は高く評価できます。一方で、家庭学習への取組の認識の違い、読書習慣の充実・改善が必要です。引き続き、児童・教職員・保護者が協力し、より良い学校作りを目指していくことが重要です。